

# 区議会だより

発行/江戸川区議会  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/

## 222号の 主な記事

- 第2回定例会概要、第1回臨時会概要、議員提出議案の概要..... 1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2 ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～6 ページ
- 委員会構成名簿..... 7 ページ
- 江戸川区議会会派等別議員一覧..... 8 ページ

### 第2回定例会日程

- 6月 9日..... 議案上程、委員会付託
- 13日..... 表決、代表質問
- 14日..... 一般質問
- 15日..... 議案審査
- 16日..... 請願・陳情等の審査
- 21日..... 委員会報告及び表決

## 平成28年第2回定例会

# 補正予算を含む議案 15 件を可決

### 「舛添要一都知事に全容説明と辞職を求める意見書」を含む意見書 2 件を可決

平成28年第2回定例会は6月9日から6月21日までの13日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、北小岩一丁目東部土地区画整理事業費などを計上した補正予算を含む13件の議案と報告4件が提出されました。

これらの議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議員からは「舛添要一都知事に全容説明と辞職を求める意見書」を含む2件の議案を提出し、それぞれ可決しました。意見書は、関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、9月上旬にできあがりです。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館または区議会事務局をご覧ください。



カヌー体験教室の様子

### 第1回臨時会の概要

平成28年第1回臨時会が5月26日に開かれました。この議会では、任期満了にともなう常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任と辞任による特別委員会委員の選任も行われました。(区議会の新しい構成は7面参照)

### 議員から提出された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —

#### ○舛添要一都知事に全容説明と辞職を求める意見書 〔東京都知事 あて〕

舛添都知事の政治資金使用に対するさまざまな疑惑によって生じた都政の停滞と都知事の権威失墜は看過できないことから、一刻も早くすべての疑惑に対し、自ら真相を語り、都知事として出处進退を明らかにすることを求める。(6月13日に可決し、同日都知事へ送付)

#### ○待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書 〔内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画) あて〕

国は「待機児童解消加速化プラン」に基づき、保育所等の受入児童数の拡大や保育士の処遇改善などに取り組んできたが、依然として2万人を超える待機児童が存在している。そこで、待機児童解消のため、保育士の賃金引き上げやキャリアアップ支援など、保育士のさらなる処遇改善を検討すること。また、短時間正社員制度の推進や育児休業取得の推進など、保育士が働きやすい環境整備に取り組むことなどを国に求める。(6月21日可決後、関係機関へ送付)

### 平成28年第3回定例会開催予定

- 9月26日(月)…本会議(議案上程、委員会付託)
- 28日(水)…本会議(一般質問)
- 29日(木)…本会議(一般質問)
- 30日
- 10月3・4・6・7・11・12・17日 } 決算特別委員会
- 18日(火)…常任委員会(議案審査)
- 19日(水)…各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 27日(木)…本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。

※ 傍聴の受付は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：公明…公明党、自民…自由民主党、民進…民進党、共産…日本共産党
自由…江戸川自由民主党、江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク
(議長を除く 計43名)

Table with columns: 件名, 概要, 公明, 自民, 民進, 共産, 自由, 江戸, 生ネ, 須賀(清), 賛成, 反対, 結果. Rows include 区長提出議案 (予算, 条例(新規), 条例(一部改正), 契約) and 議員提出議案 (18号, 19号).

※不採択に賛成ではかり不採択

皆さんから出された請願・陳情

Table with columns: 番号, 内容, 付託委員会, 結果. Rows include 42号 (スーパー堤防事業), 43号 (区民の生命を守るため), 44号 (都市計画道路補助), 45号 (介護報酬), 46号 (区内精神科受診者), 47号 (学校改築事業), 48号 (上一色小学校統合), 49号 (江戸川区の小中学校).

## 区政への質問

6月13日に代表質問、14日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

### 代表質問

#### 災害対策と「チームとしての学校」のあり方について



公明党  
竹内 すすむ

問 災害対策について

- ①熊本地震を踏まえ、今後の災害対策の進め方は。
- ②民間事業者や地域住民と連携・協力し、災害に強い強靱なまちづくりを。
- ③水害時の高台避難所についての考えは。

答 ①これまで積み重ねてきた災害対策を継続し、より優れたものにしていく。特にソフト面では自助・共助・公助の啓発を進め、時代に合った災害対策に取り組んでいく。

②これまでの災害対策は国土強靱化そのものであり、今後も強固な災害対策を構築する。

③身近にある公園を高台化し、避難所として活用できるよう研究していく。

問 「子育て世代包括支援センター」の機能を健康サポートセンターにもたせ、また、育児支援策として「子育てケアプラン」の導入を。

答 健康サポートセンターは子育て世代への包括的な支援の拠点である。妊娠・出産・育児の中で、切れ目のない支援をしていく。

問 「チームとしての学校」のあり方について

- ①小学校の学級で副担任制度の導入を。
- ②スクールソーシャルワーカー等の質の確保と配置の充実のため、研修の充実及び増員を。
- ③校長のリーダーシップ及びマネジメント機能をどのように強化していくのか。
- ④中学校の部活動での外部人材活用の推進を。

答 ①実施している学校の成果や課題を検討し、校長会等を通じて情報提供を行っていく。

②スクールソーシャルワーカーなどでチームを作り、情報共有を行い、質の向上に努めている。成果や課題を踏まえ、配置を検討する。

③校長を始め主任教諭にも、人材育成を目的とした研修を行っており、今後も小中学校のマネジメント機能の強化を図っていく。

④生徒が専門的指導を受けられない場合に、外部指導員の派遣を行っている。部活動の充実のため、外部人材の活用を推進していく。

問 「誰も置き去りにしない」教育のため、中学校既卒者の中学校夜間学級への再入学制度や新たな学び直しの支援を。

答 学校に通えなかった卒業生で希望する方には、夜間中学校への入学を認めている。



中学校既卒者への学び直しの支援を

問 松島四丁目所有地の活用方法は。

答 地域住民の意見をまとめ、区民の皆様の要望に応えられる活用方法を検討していく。

#### 夢をもち、永く住み続けられる街づくり推進



自由民主党  
ふじさわ 進一

問 地域包括ケアシステムにおける「なごみの家」の課題について

- ①地域包括ケアシステム構築にあたり「なごみの家」の役割と内容は。
- ②地域人材の発掘・育成を含めた、強力な地域ネットワーク確立のための取り組みを。
- ③地域や区民の理解を深めるため、今後、活動内容・機能などの周知・広報戦略にどのように取り組んでいくのか。



なごみの家について

答 ①なごみの家は子どもから熟年者までの交流の場、福祉相談、地域ネットワークの構築という機能がある。医療関係者による相談や学習支援、子ども食堂などによる地域の子どもの成長支援を町会・自治会、医療・介護関係者などと協力しながら実施していく。

②現在のボランティアに加え、これまで関わりの少なかった人に参加していただくため、総合人生大学やボランティアセンターなど、地域の関係者の方に情報発信をしていく。

③これまで広報えどがわや町会等の団体へ周知を行ってきたが、本当に支援を必要としている方には届いていないと感じている。今後は地域見守り名簿を活用し、全戸訪問による周知や地域限定のチラシの作成を行い、情報発信をしていく。

問 JR小岩駅前再開発について

①小岩駅南口「631地区」に保有している区の権利床の考え方を示すべき。

②地域や地権者と区が将来ビジョンを共有し、小岩駅北口駅前再開発事業の推進を。

答 ①区の貴重な財産であり、地域の方々の意見を聴きながら、有効な活用方法について検討していく。

②昨年5月に準備組合が設立された。その中で地権者や住民の方々の意見を伺い、将来像の共有や工事期間中の活用等の具体的な内容を検討していく。

問 東京パラリンピックの開催に向け、障がい者スポーツ及びユニバーサルスポーツの指導者の育成と区民への理解を深める取り組みをどのように進めていくのか。

答 啓発・PR・人材育成・団体連携・施設のバリアフリー促進の5つの柱で推進をしていく。初年度はイベント等を通じての啓発と障がい者スポーツ指導員資格取得講座を開催し、人材

育成を行う。障がい者スポーツイベントの中で体験教室などを実施し、ユニバーサルスポーツの普及と理解促進に努めていく。

問 学力、体力とともに、人格形成・豊かな人間性を持つ子どもを育てるため、感動・感激・感謝の心を育む学校教育を。

答 学校、家庭、地域が協働し心の通った教育活動を大切にし、さまざまな場面で感動・感激・感謝の心を育む教育を行っていきたいと考えている。

#### 災害対策のさらなる強化と郷土愛を育む取り組みの推進



民進党  
えぞえ 亮一

問 災害対策について

①熊本地震では、余震の不安から多くの方が車内で避難生活を送る事態が発生したことにより、エコノミークラス症候群の危険性が問題視された。首都直下地震が発生した場合にも渋滞等による車内避難が考えられることから、エコノミークラス症候群防止への啓発を。

②外国籍の方への対応として、防災無線やメール等で発信される災害情報の多言語化を。

③災害時は全国各地から陸域輸送、水上輸送、空輸により届く物資の整理や分配等に加え、近隣自治体との広域連携、災害ボランティアへの対応などが必要である。災害物資の輸送やボランティアの受け入れ態勢についてどのように取り組んでいくのか。

④罹災証明書の発行には、発行までの期間や調査人員の確保など課題が取り上げられているが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 ①これまで災害対策について、さまざまな議論を行ってきたが、車中泊による影響は想定外であった。熊本地震での課題を踏まえ、全庁的に議論を進めている。

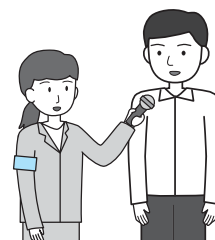
②発災直後の対応は状況によって変わる可能性もあるが、語学ボランティアの方と相談し、災害時の活動について検討していく。

③被災後に必要な物資や人員の数などを素早く情報提示できる態勢づくりをしていく。

④罹災証明の発行については、早急に検討を進めていく。

問 区民世論調査は区民の声を区政運営に反映させ、区政への関心を高める良い機会であるが、世論調査に対する区長の考えは。また、調査項目の中に郷土愛を育むような質問を。

答 区民の方の区に対する思いを知ることには大変重要なことであり、将来の区政運営に繋げていかなければならないと考えている。現在の調査で「永住意向」や「現状満足度」について聞いているが、今後は「郷土愛」についても調査項目に取り入れていきたい。



区民世論調査について

### 舛添知事辞職・子どもに安心を待機児解消は認可園で



日本共産党  
小俣 のり子

問 舛添知事の一連の疑惑を受け、政治的・道義的責任についてどのように考えるか。また、区長会として働きかけをしていくのか。

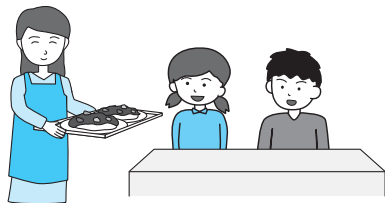
答 都政の停滞は都民・区民にとって大きな問題であり、東京都での議論を注視していく。出処進退は本人が決めることであり、区長会としての対応は考えていない。

#### 問 子どもの貧困対策について

①子どもの貧困対策方針として示された「施策の拡充・再構築」などの4つの取り組みの進め方は。また、ひとり親家庭を含む、全ての子どもたちの状況を把握する実態調査を。

②生活困窮家庭の負担を減らすため、中学校入学支度金は小学6年の3月に支給を。

③子ども食堂等の子どもの貧困対策に自主的に取り組む区民への支援を。



#### 子ども食堂への支援について

答 ①関係機関との実務者会議の中で、子ども食堂などの検証と問題等について検討しており、会議での決定に基づいた支援をしていく。実態調査の実施については考えていない。

②他の就学援助費目との整合性の観点から前年収入確定後に支給している現行方式が適切であると考えている。

③民間で運営している子ども食堂の実態を把握し、必要な支援について検討していく。

#### 問 待機児解消と保育士採用について

①国の待機児解消の緊急対策として、保育士基準の規制緩和や詰め込みに対する考えは。

②待機児解消策は認可保育園で行う立場で、緊急に来年度の認可保育園の増設計画を。

③15年間不採用の保育士の人的環境の改善のため、区立保育園保育士の採用を。

答 ①保育の質の確保等を考慮し、現行の配置基準を変更する考えはない。

②認可保育園2園の計画はあるが、小規模保育園や事業所内保育所の活用、企業主導型保育事業の推進などを行い、待機児解消に努める。

③若い方と年配の方がバランス良く事業を展開することは望ましいことであるが、現時点で正規職員の採用は検討していない。

### 区独自で児童相談所の設置を！ 区スポーツ夢基金の柔軟な運用を！



江戸川自由民主党  
大西 洋平

問 熊本地震の被害を踏まえ、防災拠点となるべき区役所が災害によって機能を失わないよう、災害に強い新庁舎整備を。

答 庁舎の災害対策機能の強化は大変重要である。災害に強い庁舎建設の早期実現に向け、東京都との用地交渉を進めていく。



#### 問 篠崎・東部地区のまちづくり

①区東部と市川市を結ぶ将来の橋梁事業につながる補助286号線周辺の整備方針は。

②篠崎駅西口周辺は区画整理事業により、さまざまな変化を遂げてきた。地域の期待も大きい今後の篠崎駅西口周辺の区画整理事業の進め方は。

答 ①道路整備のほかに、江戸川緑地や土地区画整理事業の都市計画、スーパー堤防事業など、さまざまな検討要素がある。まちづくりと一体の整備を視野に入れ、早期実現に向けて東京都と調整していく。

②防災機能や住環境の整備、駅前の活性化、利便性の向上を目指していく。今後も地権者と個別相談会等を通じて、丁寧な話し合いを進め、早期の事業認可に繋げていきたい。

問 江戸川区スポーツ夢基金の支援対象者の選定には明確な基準が定められているが、あと一歩の方々へ光を照らすべく、対象者の決定には柔軟で幅広い検討が必要である。今後どのように運用していくのか。

答 質問にもあったように、柔軟な考え方で選定を行い、一人でも多くの優秀な選手の夢を手助けしていきたい。

問 区内業者を育成するため、学校給食調理業務委託の事業者選定要領に、公平性を担保したうえで、区内事業者優先の明確な基準設定を。

答 委託業者選定の優先事項は安全で安心な給食の提供である。区内産業の育成の視点は大切であり、今後は公平性を担保したうえで、選定方法を前向きに検討していきたい。

問 児童福祉法の改正により、児童相談所を区独自で設置することができるようになったことに対する区長の考えは。

答 児童相談所の設置権限は特別区の悲願であった。今後は児童虐待等に責任をもって取り組むための体制整備を進めていく。

### 69万人区民が主体の防災・減災対策について



江戸川クラブ  
岩田 まさかず

問 江戸川区地域防災計画に掲げられている区内事業者や防災関係機関、区民等の自助・共助・公助の推進と防災力向上による被害の抑制、早期の生活再建の実現などの進め方は。

答 災害に強いまちづくりなど、さまざまな

ハード事業を進めるとともに、区民の皆様の自助・共助を徹底していく。行政や個人、地域社会がそれぞれ果たす役割をお互いに発揮し、犠牲者を出さないように努める。

問 防災訓練には、地域の実情に合わせた実践的な訓練、地域住民の意見の反映、女性や高齢者、障がい者等に配慮した視点が必要である。また、ペット同伴の避難訓練も必要であると考えますが、防災訓練の今後のあり方は。

答 ペット同伴や障がい者の視点にたった防災訓練は大変重要であり、消防や警察と連携した機関訓練を実施している。さまざまな状況に対応できるよう、区民主体の防災訓練の支援をしていく。



#### ペット同伴の防災訓練の実施を

問 自分の住んでいる街を知り、災害から自身や家族を守る力を身に付け、生き抜く力を育てる防災教育に対する考えは。

答 避難三原則を教え、防災ノートの活用、防災訓練への参加などで、防災意識を育てていくとともに、中学生が地域社会の担い手となるような防災教育を進めていく。

問 福祉避難所の避難者が少しでも安心して過ごすことができる体制を確保するため、福祉避難所のさらなる拡充と連携の強化を。

答 福祉避難所は要配慮者が良好な生活環境で避難生活を送れるよう区が指定する施設であり、特別養護老人ホームや障害者施設を中心に36箇所を指定している。福祉避難所への移送手段の確保や指定施設への状況調査を行うなど、福祉避難所と連携強化を図りながら、検討を進めていく。

問 移動・情報弱者である聴覚障がい者・視覚障がい者の防災についての取り組みは。

答 各障害者団体や各関係団体が参加する障がい者の自立支援協議会の中で、防災マニュアルを作成している。視覚障がい者に対する情報伝達は拡大文字や点字等の活用、聴覚障がい者に対しては、掲示板等を活用している。今後は関係団体と協議し、防災マニュアルの配布や防災訓練への参加、講演会の実施など、実効性のある対策を行っていく。

## 一般質問

### 待機児解消！ 駅施設や踏切内の安全対策について



公明党  
堀江 そういち

#### 問 待機児童の解消について

①今後の待機児童解消に向けた取り組みは。

②保育課、子育て支援課、児童女性課の連携を強化し、保育コンシェルジュの導入を。また、子育てひろばなどでの相談機能強化を。

答 ①私立幼稚園協会と協議し、4月より幼稚園での預かり保育を実施しているが、保育従事者不足という課題がある。保育士への支援や保育所整備に積極的に取り組んでいく。



②各部署の緊密な連携により、保育コンシェルジュと同等程度のサービス提供ができていると考えている。今後の保育ニーズを踏まえ、効果を見極めていく。

#### ◎ 認知症サポーターの養成について

①地域社会で認知症の方を支えるため、区民が認知症を正しく理解できるよう啓発を。

②認知症の方と家族を手助けする「認知症サポーター」のスキルアップの取り組みを。

◎ ①認知症サポーター養成講座や介護予防教室などの実施に加え、今年度から「認知症ケアパス」の作成、広報紙での特集の掲載などを行っている。今後も医療・介護の関係者と連携を取りながら周知・啓発に努めていく。

②さらなる認知症サポーターの養成が必要であり、今後も周知活動を行う。その中で、国が進める上級講座の開催を検討していく。

◎ 安全・安心に電車を利用できるよう、区内の各駅にホームドア等を整備し、駅ホームの総合的なバリアフリー推進と安全対策を。

◎ 鉄道事業者の協力のもと、補助事業を活用して整備を進めてきた。事業者間の調整を図るとともに、補助制度を有効的に活用し、乗降客数が10万人以上の小岩、葛西駅に優先的にホームドアの設置を促進していく。

#### ◎ 踏切道内の安全対策について

①京成小岩第一号踏切道の拡幅事業の推進及び安全対策の向上を。

②本区の連続立体交差事業の今後の見通しは。

◎ ①補助264号線の整備を含めて、今年度協議を進め、来年度設計に入りたい。

②順次整備が進んでいるが、高砂の車庫移転問題が課題である。早期実現に向け、関係機関との協議を進めていく。

### 地震の二次災害回避と新たな魅力の発信向上



自由民主党  
野崎 まこと

◎ 地震による二次的災害を避けるために(熊本地震の教訓を踏まえて)

①熊本地震でのエコノミー症候群対策として、国はチラシの配布やラジオ放送などでの周知や避難所に専門家を派遣し、予防活動を実施したが多くの患者が出た。エコノミー症候群対策の研究やプライベートスペースの確保のため、学校に配置してあるテントを活用し、体調悪化や避難生活の身体的負担などが引き起こす「震災関連死」の対策を。

②災害時の消防団員の活動は重要であり、本区の消防団員も地域のために活動しているが、人数の減少や高齢化が進んでいる。消防団員の必要性の周知と増員の検討を。

◎ ①区が所有する資機材については出来るだけ有効活用し、避難所の環境向上に努める。状況によってさまざまな対応が必要であるため、意を用いて、災害対策を検討していく。

②消防団運営委員会で検討した公務員の加入促進や各事業所の従業員への依頼、女性の加入促進などの方策に取り組み、消防団員確保のために全力を尽くしていく。

◎ 新たな魅力の発信と地域力の向上について

①40年にわたり区民とともにやってきた緑化運動により、区内の桜は1万5千本となり、「2016全国さくらシンポジウム」を成功させる

ことができたが、今後どのように展開していこうと考えているのか。

◎平成28年度都市景観大賞を受け、新川のさらなる魅力の発信を。

◎ ①全国の多くの方に江戸川区の環境創造や地域の努力を認識していただけた。地域と区が協力し取り組んできた成果であり、本区の誇りである。毎年春には多くの方が桜鑑賞に来ていただけるので、地域の活性化や新たな江戸川区の文化の創造などにつながるよう地域の皆様と一体となって新川の魅力づくりにまい進したい。

②今回の受賞を原動力に、これからも地域の方と協力し、新川の魅力を高めていく。

◎ 補助289号線沿線等と新川東水門の環境整備について

①都市計画道路補助289号線のこれまでの経過と今後の整備計画は。

②区民の期待に応える新川東水門の整備を。

◎ ①289号線は葛西南部と船堀地区を結ぶ重要な交通ネットワークであり、未整備部分については用地取得や街路整備を行っている。まちづくり懇談会などを踏まえて、地域の生活環境の向上に努めていく。

②新川東水門は新川千本桜の入り口部分となるため、桜の植栽等を含めた景観整備を行い、平成31年度の完成を目指していく。

### 本区の防災・ICT教育・福祉について



民進党  
小野塚 あやか

◎ 熊本地震でのペット同伴問題を踏まえ、動物救護マニュアルのブラッシュアップ及びペット同伴型の避難訓練の実施を。

◎ 熊本地震で顕在化した課題を踏まえ、関係団体と連携し、避難所でのペットとの共存、災害時のあり方について検討していく。

◎ 学校現場でのICT教育について

①ICTを活用した教育について教員への指導方法は。また、児童・生徒に対する情報リテラシーやネットリテラシー教育の進め方は。

②ICT端末を活用し、教務の簡易化をどのように進めていくのか。

③タブレット等の活用による学び方への影響を踏まえた、今後のICT教育の進め方は。

◎ ①教員に対する年3回のICT研修を義務付けた。また、昨年作成した「江戸川っ子、家庭ルールづくり」を活用し、学校と家庭で情報リテラシー教育を推進していく。

②指導員を派遣し、全教員が円滑にICTを運用できるよう支援していく。また、情報共有等を充実させ、教務の効率化を進めていく。

③ICTの効率的な活用を推進し、教育の質の向上を図る。情報リテラシーを学ぶ学習活動やICT機器を利用したコミュニケーション能力の育成に努めていく。

◎ 熟年者の方々への包括的な支援について

①熟年者の見守り活動の中・長期的な展開は。

②社会貢献型後見人制度の普及への取り組みは。

③樹木葬型の区営霊園の設置と「エンディングプランサポート事業」の実施を。

◎ ①これまで民生児童委員や機器による見守りを行ってきた。今後は見守り名簿の活用やなごみの家の見守り体制を構築していく。

②養成講座の実施や広報えどがわへの掲載などを通じて、周知を行っている。今後も関係機関と連携し、普及啓発に努める。

③区条例により制限があり、設置は困難であるが、今後の動向を注視していく。エンディングサポート事業については独居高齢者の増加により関心を持っており、研究していく。

### 羽田の新ルート案中止をマンション施策、防災対策充実



日本共産党  
大橋 みえ子

◎ 羽田空港の航空機の増便問題、区内通過の騒音対策について

①国から新たに示された、荒川沿いを北に向かって離陸する飛行ルート案に反対を。

②増便による環境悪化に対する認識は。

③国に住宅や学校などへの騒音対策の要望を。

◎ ①国は45年前の海上ルートの約束を踏まえ機能拡張しており、今後の日本経済・社会を鑑み、区として反対する考えはない。

②増便によって環境が悪化しないよう国に求めている。この後、国から示される環境に配慮した提案を十分に注視していく。

③法の基準の範囲内であるが、今でも国に対して騒音の低減を求めている。引き続きあらゆる可能性を求めて、国に騒音対策を求めていく。

◎ マンション施策の拡充について

①マンション耐震改修工事助成の拡充を。

②マンション管理組合への支援のため、管理士による無料相談会の周知と管理アドバイザー派遣料の補助を。

③民泊の規制緩和や新たな法整備は行うべきではないと考えるが、民泊に対する認識は。

◎ ①平成20年の工事助成開始から数回拡充してきた。重要な課題である管理組合との合意形成を中心に取り組んでいく。

②マンション通信等で周知を行っており、無料相談会で耐震改修の合意形成を図る。管理アドバイザー制度については研究していく。

③近隣トラブルに配慮した国の規制改革実施計画が6月に出されている。また、今年度策定予定の新法の状況を見ながら対応していく。

◎ 防災対策の充実について

①室内で屋外防災無線の受信可能なシステムの検討及びJ:COM端末設置補助を。

②「耐震シェルター」設置の補助制度を。

◎ ①防災無線のデジタル化によって音質の向上を行っている。情報配信媒体の多様化を図っており、現時点での補助は考えていない。

②家屋倒壊を防ぐ取り組みを進めていく方針であり、助成の予定はない。

### 総合戦略と防災体制の構築強化、農業活動場の提供を



江戸川自由民主党  
栗原 ゆたか

◎ 江戸川区総合戦略について

①江戸川区総合戦略の策定には、将来の人口ビジョンを踏まえ、社会保障経費を補うための財源確保の視点が必要であるが、総合戦略の策定に関する区長の思いは。

②保育施設の増設には限度もある。このことを踏まえた待機児童解消策の今後の展望は。  
 ③不動産業界団体などと連携し、活気ある街づくりを進める必要があるが、今後の空き家対策にどのように取り組むか。

- ☑ ①社会保障経費の財源確保は重要だが、一自治体の問題ではなく、国家の枠組みの中で、住民負担をどうするか考えるべきである。
- ②企業がワークライフバランスの推進等を行っていくことで待機児童解消に取り組み、地域社会に貢献してほしいと考えている。
- ③各部署と連携し、地域資源の有効な活用について検討している。地域と協力し、空き家対策事業を進めていく。

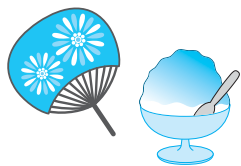
**☑ 震災時の防災体制について**

①災害時の物資輸送路の確保や区外の配送拠点からの補給など、他県との広域的な連携が必要であるが、今後の取り組みは。  
 ②応急仮設住宅の建設地において液状化現象が生じた場合の対応策は。

- ☑ ①液状化による被害を踏まえ、物資の輸送路や避難所へのアクセス道路の確保について東京都とともに対策を検討している。また、物資輸送については、近隣都市や茨城県の城里町と災害時の連携体制を構築している。
- ②現時点では仮設住宅建設地の抜本的な地盤改良は困難であるため、水道局などと連携し、水道管等の耐震化を進め、被害を最小限に抑える体制づくりに取り組んでいく。

**☑ 学校跡地のような大規模用地を都市型体験・農業テーマパークとして活用を。**

☑ 学校跡地を活用し、本区の農業を残していくことは大変興味深い。学校跡地は貴重な財産であり、地域の皆さんとともに有効な活用方法について探求していく。



**多様性への理解とシチズンシップ教育**



生活者ネットワーク  
**本西 光枝**

**☑ 性的マイノリティへの理解について**

①多様性を認めあう社会に向けて管理職を対象に行った性的マイノリティ講習会で明らかになった課題と研修の活かし方は。また、一般職員を対象とした理解を深める研修を。  
 ②児童・生徒の思春期の心の葛藤に対する配慮と、教職員に対しても理解を深める研修を。

- ☑ ①人権侵害の課題や区の役割が明らかになった。機会を捉え認識を深める努力をする。
- ②文科省の通知に沿ってトイレ利用等の配慮を行っており、教職員に対する研修も予定している。

**☑ シチズンシップ教育について**

①自分たちの意思と行動が社会をつくるという認識を育てるための教育の考え方と現状は。  
 ②自己肯定感を養う教育の取り組みと評価は。  
 ③子どもたちが意見表明する場として、年齢の対象を広げ、継続した子ども議会の実施を。  
 ☑ ①授業や地域活動で自覚を育てている。  
 ②学級満足度を評価するQUを活用し、さらなる推進に取り組む。  
 ③限られた生徒しか参加できないという課題があり、他の方法でも意見を聞く機会を持つ。

**都県橋の早期実現を！篠崎駅駐輪場の拡充について**



公明党  
**所 たかひろ**

☑ 「補助286号線」と「補助143号線」整備の早期実現に向けた区長の考えは。

- ☑ 関係機関と調整し、早期実現に向けた努力をしていく。
- ☑ 生活困窮者自立支援法のさらなる取り組み

**について**

①生活困窮者の早期発見への取り組みを。  
 ②早期発見・早期支援の体制を強化するため、各部署や関係団体と連携強化を。  
 ③本区の「支え合う地域づくり」の進め方は。

- ☑ ①医療団体など32の関係団体との会議や広報紙・ホームページへの掲載、チラシの配布などを行った。今後も周知場所の拡大を図る。
- ②各部署からの案内により、昨年1年で約500件が本制度につながった。小中学校や関係32団体に加え、ネットカフェや浴場組合などと連携し、制度の推進を行う。
- ③地域包括ケアシステムの中で、生活困窮者を含め、子どもから熟年者までの全区民を対象とした支え合う地域づくりを推進していく。

**☑ スポーツ施設について**

①今年度予定されている「臨海球技場第一」の改修工事の具体的な設計内容と利用休止期間は。  
 ②「臨海球技場第一」の駐車場不足対策を。  
 ③スポーツ施設での広告事業の積極的な推進を。

- ☑ ①野球場、多目的グラウンド、フットサル場の老朽化対策と併せて、照明のLED化や人工芝化を行い利用環境の向上を図る。28年度は設計を行い、工事は29年度を予定している。工期は数か月かかる見込みであるが、休止期間を短くする工夫をしていく。
- ②隣接地への駐車場設置は困難であり、公共交通の利用促進や他の駐車場の案内に努める。
- ③スポーツ施設の状況に合わせて、指定管理者と相談しながら継続的に進めていく。

**☑ 駐輪場の課題について**

①子乗せ自転車や高齢者用の三輪自転車など、自転車の大型化、多様化に対する駐輪対策は。  
 ②篠崎駅に増設される駐輪場の整備方針は。  
 ☑ ①現在の利用台数がピークであると想定されており、ラックの入れ替えや駐輪エリア分けなどの工夫により対応していく。  
 ②100台から150台の規模となる予定であり、今年の秋から利用開始予定である。



スマホ・タブレットアプリの「i広報紙」でも区議会だよりを読めるようになりました

**i広報紙の主な機能**

- いつでもどこでも無料で閲覧できるようになります。
- 区議会だより発行日に携帯端末へ更新通知が届きます。
- ページめくり、記事の拡大・縮小などが簡単にできます。
- 気になる記事や画像を切り抜いて保存できます。
- 簡単にPDFデータを見ることが出来ます。



※写真はイメージです

**利用方法**

1. 右のQRコードまたはGoogle play、Apple Storeで「i広報紙」と検索してインストールします。



2. インストール後「お住まいの地域」、「興味のある分野」などを設定すれば完了です。



i広報紙 QRコード

※i広報紙は㈱ホープが運営しています。  
 ※アプリで掲載されている広告の内容につきましては㈱ホープの責任で募集・掲載しています。

**熊本地震の義援金を届けました**

熊本地震からの早期復興を支援するため、5月18日(水)に熊本地震の義援金を熊本県東京事務所へ届けました。



・熊本県東京事務所にて

区民の方などから寄せられた義援金は6月23日現在で、16,903,029円となっております。また、義援金の受付期間は平成29年3月31日までに延長となりました。皆様の変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

# 委員会って？

区長から提出された議案や区民の方から提出された請願・陳情などは、議員の一部で構成する委員会において部門ごとに専門的に審査を行います。

委員会は以下の3つに分けられます。

## 常任委員会

条例で5つの常任委員会を設置しています。

議員は、いずれかの委員会に必ず所属しなければならず、その任期は条例で1年と決められています。

## 議会運営委員会

条例により設置され、議会の運営に関する事項等の調査を行います。

任期は常任委員会と同じく1年です。

## 特別委員会

特定の事件について、議会の議決により、必要に応じて設置されます。

現在4つの特別委員会が設置されています。

平成28年第1回臨時会で決定した、各種委員会の構成は下記のとおりです。

## 各種委員会の構成

議長…福本みつひろ

副議長…中道たかし

委員会名	常任委員会					議会運営委員会 (定数15名)	特別委員会			
	総務 (定数9名)	生活振興環境 (定数9名)	福祉健康 (定数9名)	文教 (定数9名)	建設 (定数8名)		行財政改革 (定数12名)	災害対策・街づくり推進 (定数12名)	熟年者支援 (定数12名)	子育て・教育力向上 (定数12名)
所管事項	経営企画部、危機管理室、総務部、選挙管理委員会、監査委員に関する事項及び他の委員会に属しない事項	環境部、生活振興部、農業委員会に関する事項	福祉部、子ども家庭部、健康部に関する事項	文化共育部、教育委員会に関する事項	都市開発部、土木部に関する事項	(1)議会の運営に関する事項 (2)議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 (3)議長の諮問に関する事項	(1)区の行財政改革に関する事項 (2)都区制度に関する事項 (3)構造改革特区制度に関する事項 (4)ICT化に関する事項 (5)公共施設のあり方に関する事項	(1)大規模災害対策に関する事項 (2)木造密集地域解消に関する事項 (3)土地区画整理事業、再開発事業及び都市計画道路の整備促進に関する事項 (4)スーパー堤防の整備促進に関する事項 (5)区内交通体系に関する事項 (6)南北交通の整備に関する事項	(1)健康の維持増進に関する事項 (2)生きがいの場充実にに関する事項 (3)介護支援の充実にに関する事項	(1)子育て力向上に関する事項 (2)健全育成に関する事項 (3)学力向上に関する事項 (4)学校施設改築・学校再編に関する事項 (5)児童虐待防止に関する事項
委員長	田中じゅん子	竹内すすむ	うざわ悦子	島村和成	ふじさわ進一	川瀬やすのり	大西洋平	関根まみ子	えぞえ亮一	斉藤まさたか
副委員長	渡部正明	野崎まこと	中山たかひと	堀江そういち	くぼた龍一	田中寿一	ます秀行	小俣のり子	栗原ゆたか	セバタ勇
委員	笹本ひさし 佐々木ゆういち 中里省三 はやかわ和江 田中寿一 セバタ勇 川瀬やすのり	中津川まさあき 小野塚あやか 伊藤ひとみ 所たかひろ 大橋みえ子 福本みつひろ 須賀精二	岩田まさかず えぞえ亮一 伊藤てる子 中道たかし 高木ひでたか 小俣のり子 須賀清次	牧野けんじ ます秀行 金井しげる 竹平ちはる 大西洋平 斉藤まさたか 関根まみ子	神尾てるあき 本西光枝 栗原ゆたか 太田きみひろ 須田哲二 田島すすむ	ます秀行 くぼた龍一 大西洋平 中山たかひと 大橋みえ子 えぞえ亮一 中里省三 関根まみ子 はやかわ和江 小俣のり子 竹内すすむ 田中じゅん子 島村和成	佐々木ゆういち 太田きみひろ 中山たかひと 須田哲二 中里省三 高木ひでたか 須賀清次 うざわ悦子 竹内すすむ ふじさわ進一	岩田まさかず 伊藤ひとみ 野崎まこと 牧野けんじ 金井しげる 竹平ちはる 所たかひろ 中山たかひと 須賀精二 田島すすむ	中津川まさあき 神尾てるあき 本西光枝 野崎まこと 竹平ちはる 所たかひろ くぼた龍一 大橋みえ子 川瀬やすのり 島村和成	中津川まさあき 小野塚あやか 笹本ひさし 佐々木ゆういち 堀江そういち 伊藤てる子 はやかわ和江 田中寿一 田中じゅん子 渡部正明

議員選出監査委員 伊藤てる子議員 田島すすむ議員

# 江戸川区議会会派等別議員一覧

氏名	連絡先	名所
連電	話番	回数
当選	回数	番号

【◎幹事長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】

**江戸川区議会 公明党**  
13名  
直通(5662)5112  
<http://www.e-komei.com/>

◎川瀬 やすのり 江戸川1-21-23 5636-5530 ⑤	□竹内 すずむ 松江3-14-19 3652-6798 ⑤	○田中 じゅん子 上篠崎3-10-11 6638-7465 ⑤	○関根 まみ子 春江町4-18-10-102 3869-0978 ③	○くぼた 龍一 中葛西2-26-10-1005 3686-1939 ③	佐々木 ゆういち 北葛西5-4-15 5605-9262 ②	竹平 ちはる 東小岩1-14-6 5876-7376 ②
所たかひろ 新堀1-13-7 3670-0334 ②	太田さみひろ 平井6-32-2 6657-2641 ②	堀江 そういち 西小岩2-17-1-603 3658-8597 ③	伊藤 てる子 中葛西5-2-7-309 6903-7742 ③	中道 たかし 大杉1-1-1-703 5607-0835 ③	うざわ 悦子 東葛西6-10-18-701 3686-7461 ④	

**区議会 自由民主党**  
9名  
直通(5662)5111  
<http://edogawa-jimin.jp/>

◎田中 寿一 船堀3-1-3 5679-0413 ③	○島村 和成 平井5-51-12 3617-3471 ⑦	△中山 たかひと 西篠江3-36-4 3677-0072 ②	△野崎 まこと 西葛西6-8-13-2F 3869-8125 ①	斉藤 まさたか 北小岩8-24-6 3672-5849 ③	福本 みつひろ 東葛西8-7-33 3877-0541 ④	ふじさわ 進一 南小岩6-28-11 3658-0783 ④
田島 すずむ 鹿骨4-21-2 3670-7716 ⑦	渡部 正明 松島4-20-13 3653-9346 ⑦					

**区議会 民進党**  
5名  
直通(5662)5116

◎中里 省三 松江3-12-3 6312-1486 ③	○えぞえ 亮一 南篠崎町5-12-2-803 3677-6622 ③	△金井 しげる 南小岩3-15-20 6657-9897 ②	△神尾 てるあき 春江町3-32-3 5243-8311 ①	△小野塚 あやか 東葛西5-9-9-506 080-9817-8869 ①

**日本共産党 江戸川区議員団**  
5名  
直通(5662)5113  
<http://jcp-edogawa.com/>

◎小俣 のり子 中央2-22-4 3655-4422 ④	○大橋 みえ子 中葛西8-6-2 5674-3753 ②	△セバタ 勇 平井2-17-3 3637-4050 ⑨	牧野 けんじ 東小岩3-13-9 6331-1791 ①	須田 哲二 篠崎町5-14-10-1003 3677-2616 ④

**江戸川 自由民主党**  
5名  
直通(5662)1291

◎はやかわ 和江 松本1-10-6 5678-0777 ④	○大西 洋平 篠崎町2-1-10-305 5664-2024 ②	△栗原 ゆたか 中央3-5-2 3674-6025 ①	高木 ひでたか 一之江3-18-3 5661-4608 ④	須賀 精二 江戸川2-8-1 3679-8373 ⑥

**江戸川クラブ**  
4名  
直通(5662)0074

◎ます 秀行 南葛西4-21-3-402 6662-7890 ②	○中津川 まさあき 南篠崎町1-22-2 3678-1660 ②	△岩田 まさかず 上篠崎3-9-13 3679-3223 ①	笹本 ひさし 北小岩6-16-1-2F 5668-2636 ③

**生活者ネットワーク**  
2名  
直通(5662)2752  
<http://edogawa-seikatsusha.me/>

◎本西 光枝 東小松川3-35-13-205 5607-5975 ①	○伊藤 ひとみ 南葛西6-17-15-204 3675-9220 ①

**無所属**  
直通  
(5662)1993

須賀 清次 東葛西4-27-13 3688-7001 ⑤

**区議会だより 編集委員会**  
(◎委員長 ○副委員長)

- ◎川瀬 やすのり
- 田中 寿一
- ます 秀行
- 中里 省三
- はやかわ 和江
- 小俣 のり子

## 本会議及び特別委員会 中継のお知らせ

区議会ホームページで本会議並びに 予算・決算特別委員会のライブ中継 及び録画映像を配信しています。

江戸川区議会

無所属…会派(所属議員が2人以上のグループ)を組んでいない議員のことです。